

「全学分野横断創生プログラム (Niigata University Interdisciplinary Creative Education) 事業概要図」

1. 新潟大学

■新潟大学における教育改革の歴史

H14 教育組織と教員人事組織の分離 (教教分離)

H16 全学科目化

H17 副専攻制度の導入 (分野別副専攻、課題別副専攻)

H18 主専攻プログラム化

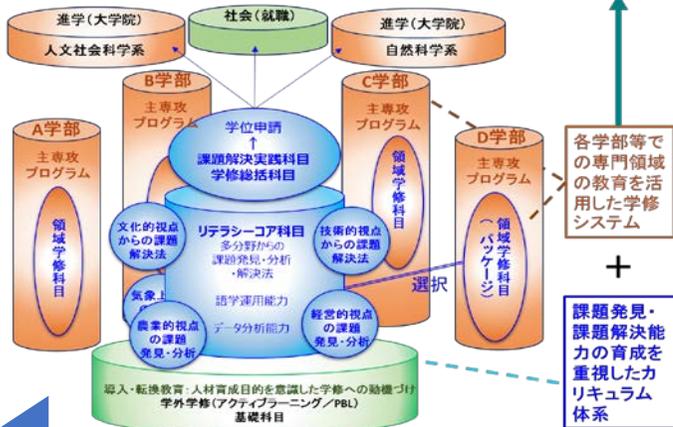
H23 新潟大学士カアセスメントシステム (NBAS) 開発

H27 大学教育再生加速プログラム (AP)、COC+

H29 創生学部 (領域学修パッケージ)

R2 経済科学部 (モジュール制)

創生学部：総合大学の資源を活用し、学生自らが学修をデザインする「到達目標創生型学位プログラム」



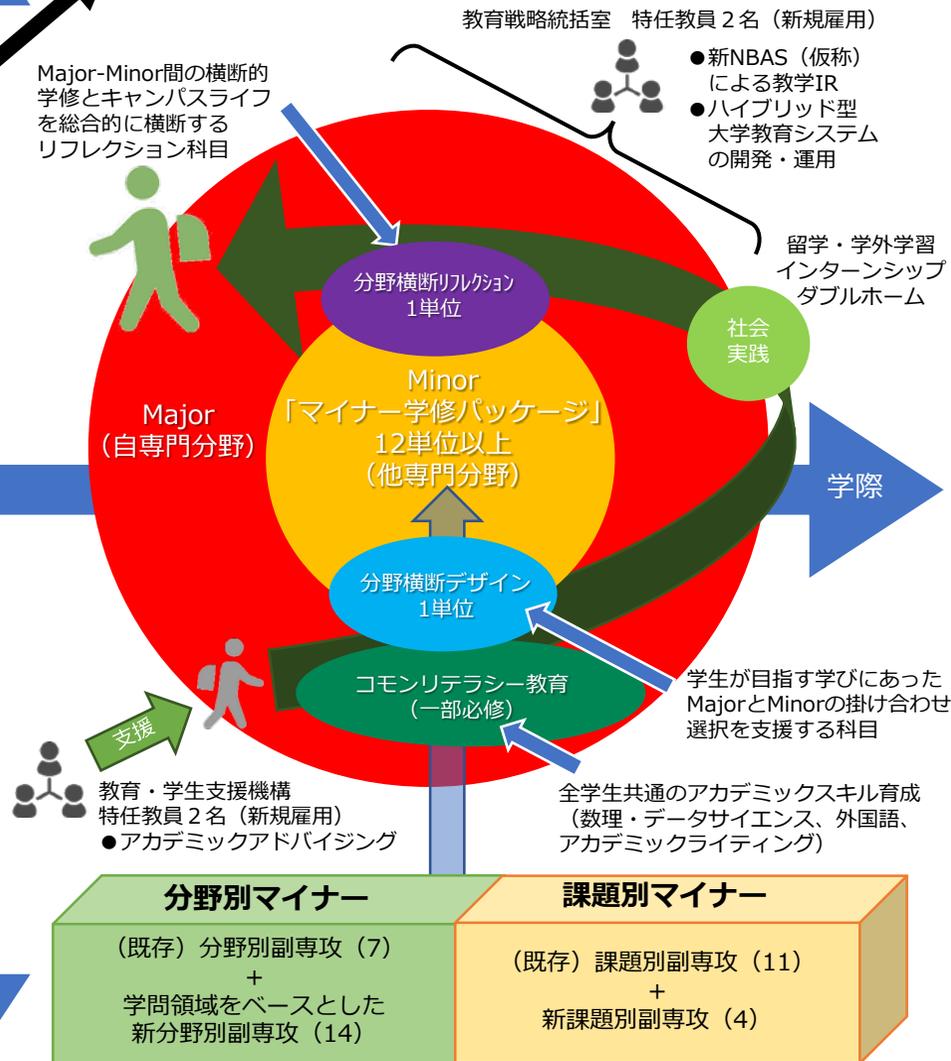
選択した専門を社会実践に活かすことを学ぶ
1主専攻プログラム 22専門分野
(領域学修科目パッケージ)

1 専門をアカデミックに学ぶ
1主専攻プログラム 1専門分野

全学分野横断創生 (NICE) プログラム
＜育成する人材像「文理複眼の視野を持つソリューション志向型人材」＞

複数の専門をアカデミックに学ぶ × 複数の専門を社会実践に活かすことを学ぶ

Major (自専門分野) × Minor (36分野) の学びの掛け合わせ



専門

学問

学際

学生が目指す学びにあった Major と Minor の掛け合わせ 選択を支援する科目

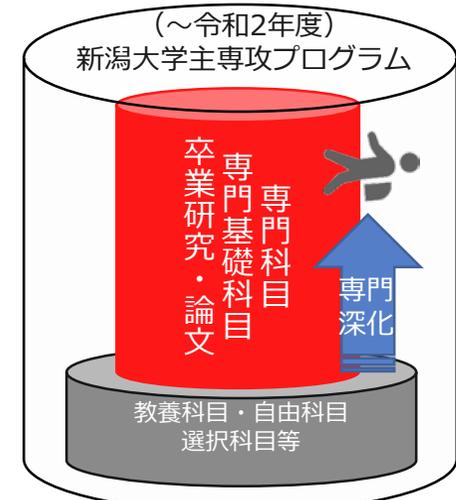
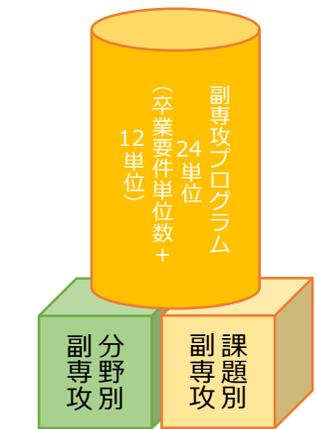
全学生共通のアカデミックスキル育成 (数理・データサイエンス、外国語、アカデミックライティング)

教育・学生支援機構 特任教員 2名 (新規雇用) ●アカデミックアドバイジング

教育戦略統括室 特任教員 2名 (新規雇用)

- 新NBAS (仮称) による教学IR
- ハイブリッド型 大学教育システムの開発・運用

留学・学外学習 インターンシップ ダブルホーム



事業概要（本事業の位置づけと4つの実施項目）

金沢大学

「地域と世界に開かれた**教育重視の研究大学**」の
位置付けをもって**改革に取り組む**（金沢大学憲章より）

教育戦略（YAMAZAKIプラン2020より）

グローバル社会の中核的なリーダーとして
活躍する「**金沢大学ブランド**」人材の育成

融合した専門知と鋭敏な飛躍知を持つ
社会変革先導人材育成プログラム
（令和2年度）

新学術創成研究機構設置
（平成27年度）

一括入試導入
（平成30年度）

学域学類制導入
（平成20年度）

国際基幹教育院設置
GS科目群の開講
（平成28年度）

人間力の形成

文理融合型教育の拡充

事業
目
標

幅広い教養と人間力を横軸に
深い専門性を縦軸に取る



T字型社会変革人材の育成

①②合わせて**80名以上**の学生が入学・受講

① 文理融合新学域
融合学域
先導学類
の設置

② 先導STEAM
人材育成
プログラムの
開講

④ 教学マネジメント室の設置

全学士課程学生が対象

③ リベラルアーツ教育の大幅拡充と
STEAM教育の全学必修化

これまでの学域GS専門科目（必修2単位）
科目を拡充し、**必修6~8単位に**

これまでの共通教育GS科目（5群30科目）
STEAM教育重視の
共通教育GS科目第6群を新設

情報によって組織や社会に操られずに、自らの人生を創造できるAI人材を養成する

全学横断特別教育プログラム「ライフクリエイター人材養成コース」

背景

- 地域の課題は、複合的な問題が複雑に絡み合い引き起こされているため、一つの専門分野では解決できない
- 情報がAIによって制御されて、個々人に届く情報が偏在化し、情報により人々が組織や社会に支配される危険性

AIスキルを持ったライフクリエイター人材の必要性

- 各専門分野に軸足を置きつつも、自らの専門分野の範疇を理解した上で、他の専門分野と共同して、問題を解決できる能力
- 情報を多角的に分析・取扱い、AIスキルにより未来を創造する能力

AI教育の一般化に向けたカリキュラムの構築

- | |
|---------------------------------------|
| Lv.4 (評価) : 社会実装への挑戦 (起業提案) |
| Lv.3 (PBL) : ライフクリエイター実習 (政策コンテスト) |
| Lv.2 (演習) : Society5.0時代の課題解決実践 (G検定) |
| Lv.1(導入学習) : 深いレベルでのリテラシー教育 (合同ゼミ) |

AIを駆使して地域・社会で活躍する「ライフクリエイター」

育成する人材像

- ①AIジェネラルスキルを有した人材：AIの技術的な理解だけでなく、歴史や法学、知財、現代的課題など、文理を超えてAIを活用する
- ②学際協働力を有した人材：各専門分野に軸足を置きつつも、自らの専門分野の範疇を理解した上で、他の専門分野と協働して、問題を解決する
- ③社会実装力を有した人材：協働して創出したアイデアを社会で実装する

深刻な地方のAI人材の不足

文理融合型のAI人材の育成と全学教育改革の実現

これまでの研究改革

先鋭領域融合研究群
「社会基盤研究所」の設置

教員の横断

学部生の横断

これまでの教育改革

- ・ 経法学部の設置
- ・ 全学横断プログラムの設置

新時代の地域のあり方を構想する地域戦略人材育成事業

地域戦略人材とは

多面的な性質をもつ地域の課題解決に向けて異なる専門分野の多様な人材を統合し、調整する新しいリーダー

- ・幅広い文理横断の知識や創造力
- ・変化に対応する力
- ・異なる分野のネットワーク結節点となるためのコミュニケーション力等

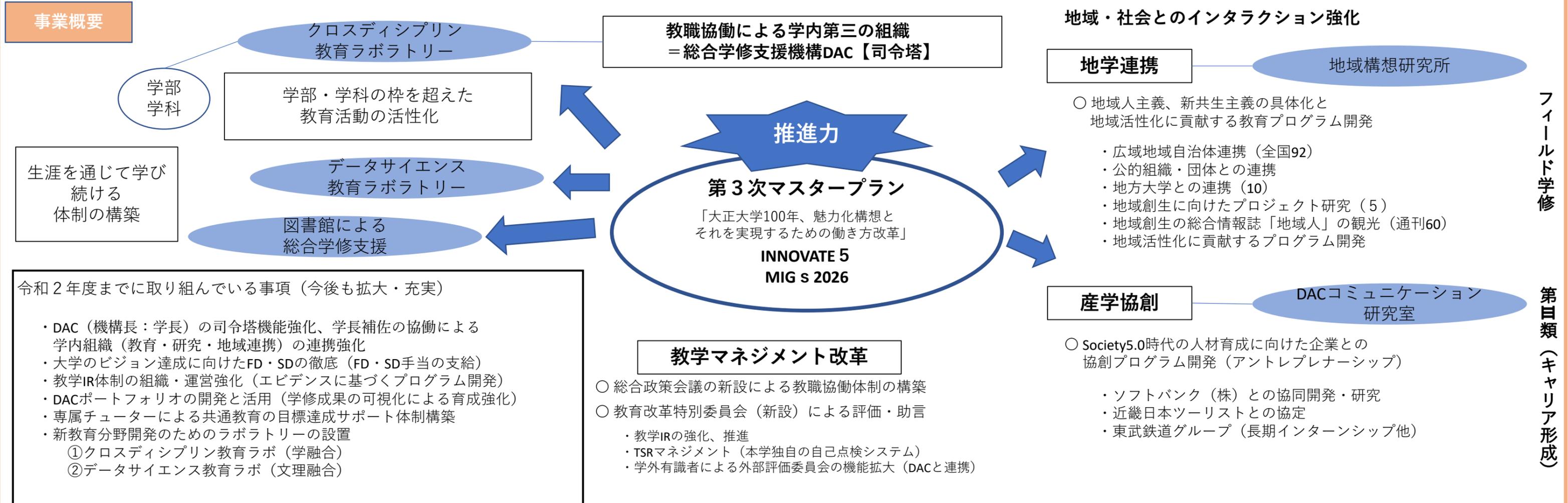
必要となる改革の方向性

- ✓ 本学第3次マスタープラン・INNOVATE 5・MIG s 2026を踏まえた人材育成
- ✓ 超スマート社会の中で地域を支え、活躍する人材を育成する教育プログラム構築
- ✓ 全学横断的な教育改革の実現に向けた組織改革、教職協働体制の確立
- ✓ 目指す人材像の育成に向けた地域・社会とのインタラクション強化

【事業方針】

- ・ 地学連携・産学協創による新しい教育プログラムの実現
- ・ 学内第3のマネジメント組織＝総合学修支援機構DACを司令塔とする全学横断的な教育改革の実現、ガバナンス強化
- ・ 生涯を通じた学びの体制構築による人材の好循環促進、社会とのインタラクション強化

事業概要



- 令和2年度までに取り組んでいる事項(今後も拡大・充実)
- ・ DAC (機構長：学長) の司令塔機能強化、学長補佐の協働による学内組織 (教育・研究・地域連携) の連携強化
 - ・ 大学のビジョン達成に向けたFD・SDの徹底 (FD・SD手当の支給)
 - ・ 教学IR体制の組織・運営強化 (エビデンスに基づくプログラム開発)
 - ・ DACポータルサイトの開発と活用 (学修成果の可視化による育成強化)
 - ・ 専属チューターによる共通教育の目標達成サポート体制構築
 - ・ 新教育分野開発のためのラボラトリーの設置
 - ①クロスディシプリン教育ラボ (学融合)
 - ②データサイエンス教育ラボ (文理融合)

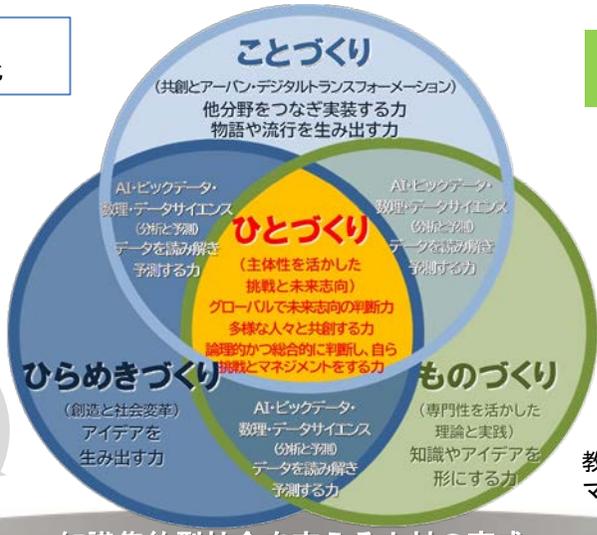
- ### 教学マネジメント改革
- 総合政策会議の新設による教職協働体制の構築
 - 教育改革特別委員会 (新設) による評価・助言
 - ・ 教学IRの強化、推進
 - ・ TSRマネジメント (本学独自の自己点検システム)
 - ・ 学外有識者による外部評価委員会の機能拡大 (DACと連携)

- ### 地域・社会とのインタラクション強化
- #### 地学連携
- 地域人主義、新共生主義の具体化と地域活性化に貢献する教育プログラム開発
 - ・ 広域地域自治体連携 (全国92)
 - ・ 公的組織・団体との連携
 - ・ 地方大学との連携 (10)
 - ・ 地域創生に向けたプロジェクト研究 (5)
 - ・ 地域創生の総合情報誌「地域人」の観光 (通刊60)
 - ・ 地域活性化に貢献するプログラム開発
- #### 産学協創
- Society5.0時代の人材育成に向けた企業との協創プログラム開発 (アントレプレナーシップ)
 - ・ ソフトバンク (株) との協同開発・研究
 - ・ 近畿日本ツーリストとの協定
 - ・ 東武鉄道グループ (長期インターンシップ他)

製造業・理工学教育
「もの」づくりに特化

国際競争力が低下

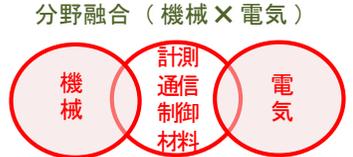
Society 5.0
Industry 4.0
with コロナ



ゲームチェンジ
時代の製造業

NG 集中型や
孤立型な
「もの」
づくり

機械や電気といった
個別的な思考アプローチによる
個別最適解の追求の限界



知識集約的な思考アプローチにより、**全体最適解**を得る人材が必要

自律分散型でありながらも
「つながり」を持つ
レジリエンスな「もの」づくり

選ばれる「もの」のための
「ひらめき・こと」づくり

ひらめき×こと×もの×ひと
づくりを掛け合わせた学び

AIoT、SloT、STEAM 教育、SD PBL
分野融合型の科目

知識集約型社会を支える人材の育成

国際競争力強化

分野融合の学び	文理横断・学修の幅を 広げる学び		グローバル・幅広い 教養と統合的な学び
もの 理論 実践	ひらめき 創造 社会変革	A・ビッグデータ・数理データサイエンス 分析 予測	こと 共創 アーバン・DX
			ひと 挑戦 未来志向

幅広い教養
深い専門性
を両立

知識集約型社会を支える人材
の育成
次世代の社会変革のリーダー
の育成

Society 5.0
Industry 4.0
with コロナ

複数のディシプリンを修得できる教育プログラム
の構築と検証を進め、
理念の共有

- 国際競争力の強化
- 日本の製造業を再生

くらしづくり
を導入

全学部
全学科に展開

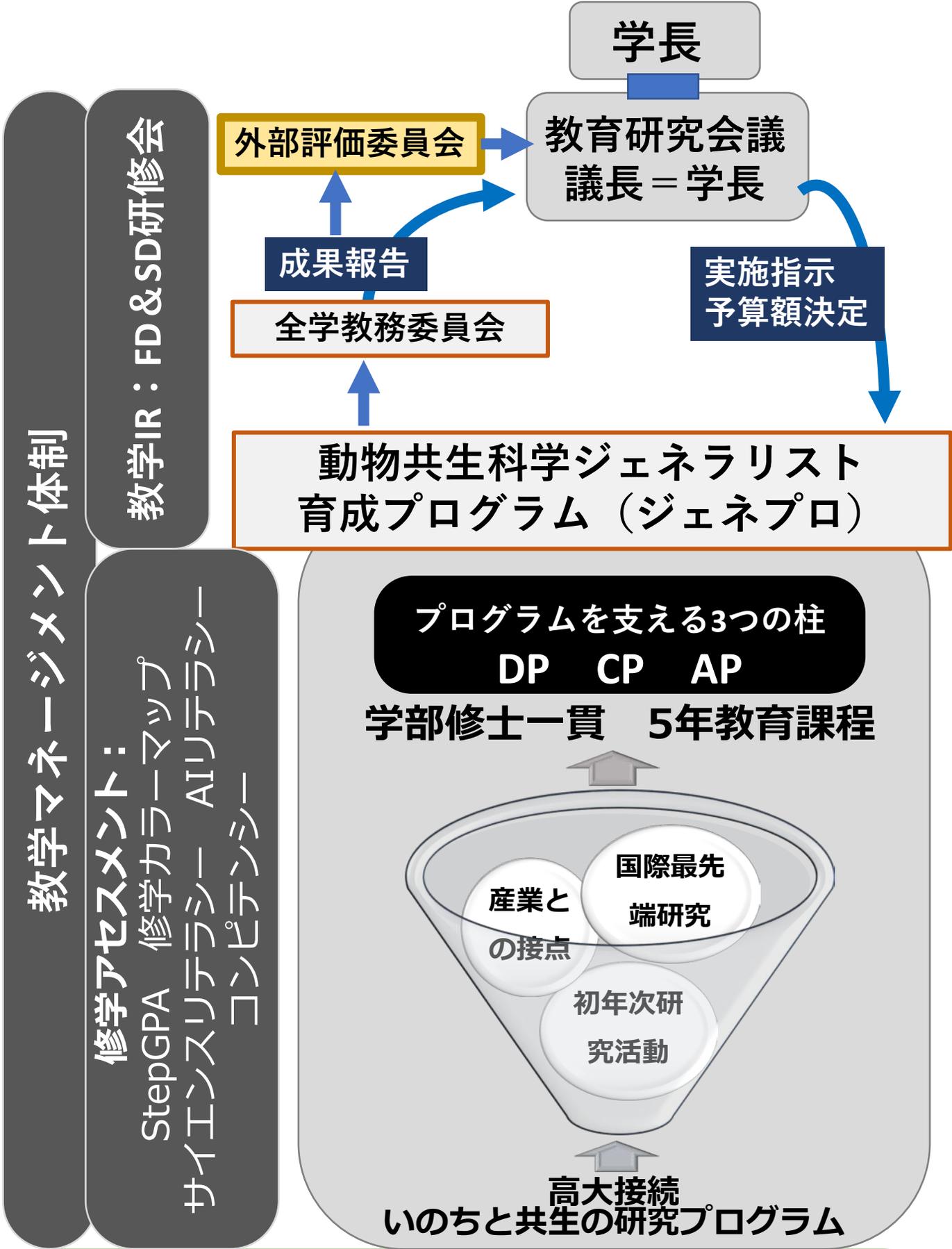
社会全体を巻き込み、大学の価値観や社会が必要な人材像も変革していく！

～事業の成果～

- ・「ひらめき・こと・もの・ひと」づくりを掛け算する教育とその統合的な学びの実現
- ・次世代の社会変革のリーダー、かつ、知識集約型社会を支える人材を育成
- ・体制整備、人材の確保、教職員や学生の意識向上、全学的な教学マネジメントの確立
- ・社会全体を巻き込み、教育改革をしていくことで、学生の主体的な学修意欲の向上
- ・「ひと」が共創することで、「ひと」が主役となる「安心」で「快適」な社会を築く

成果を告知し、国民にも広く周知して、社会を巻き込み、製造業を再生
大学の価値観変化と共に、産業界も巻き込んで、価値観を変革

項目	内容
産学連携による科目の提供数	令和3年度 4科目、令和4年度 10科目、 令和5年度 14科目、令和6年度 16科目
GPA	80%以上の科目にて、平均2.8以上
標準ルーブリックによる評価	プログラムの全科目にて行う。
SD PBLの成績の比較	プログラム参加者は非参加者より、SD PBLのf-GPAが0.5以上の高い評価となるようにする。
自ら主体的に学び、総合的な学びや専門性を修得	プログラム参加者は非参加者より、授業評価アンケートで高い満足度や理解度となるようにする。
当プログラムの理念や5つの力を学ぶ意義を理解	プログラム自己理解度アンケートと面談により、理念や5つの力を学ぶ意義の理解や力が身についているかを効果測定する。



教学マネージメント体制

教学IR：FD&SD研修会

修学アセスメント：
StepGPA 修学カラーマップ
サイエンスリテラシー AIRリテラシー
コンピテンシー

社会：課題解決に人材育成・可視化を通じた接点